

第六十七回帝國議會
衆議院

市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法中改正法律案委員會會議錄(速記)第五回

會議

昭和十年三月八日(金曜日)午前十時五十分
開議

出席委員左ノ如シ

委員長 川口 義久君

理事木村 正義君 理事眞鍋 勝君

佐々木家壽治君 宮本雄一郎君

山下 谷次君 豊田 豊吉君

原 淳一郎君 末松備一郎君

森 峰一君 塩月 學君

同月六日義務教育費臨時補充金交付法案
(野田文一郎君外四名提出)ノ審査ヲ本委員
ニ付託セラレタリ

同月七日公立學校職員年功加俸國庫補助法

中改正法律案(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ

付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

文部政務次官 添田敬一郎君

文部參與官 山根 儀重君

文部省普通學務局長 下村 壽一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法中

改正法律案(政府提出)

○川口委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前
會ニ引續キ質問ニ入ルニ先ツテ、昨日併託サ
レマシタ公立學校職員年功加俸國庫補助法

中改正法律案、本案ニ付テ政府ノ説明ヲ承

リタイト思ヒマス

○添田政府委員 只今議題トナリマシタ公

立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律

案ノ提出理由ヲ御説明申上ゲマス、今回實

業補習學校及青年訓練所ノ兩青年教育機關

ヲ統合シマシテ、青年學校トスルト共ニ、

實業補習學校教員養成所ヲ改メテ、青年學

校教員養成所トスルコトニ相成ッタノデア

リマス、仍テ公立學校職員年功加俸國庫補

助法中、學校ノ名稱ヲ改メル必要ガアリマ

スノデ、本案ヲ提出シタ次第デアリマス、

何卒御審議ノ上御協賛ヲ御願致シマス

○川口委員長 本案ニ對スル質問ハ後ニ廻

シマシテ、前會ニ引續イテ質問ヲ致スコト

ニシマス——宮本君

○宮本委員 公私簡單ニ三點バカリ御伺ヒ

致シタイノデアリマス、缺席致シテ居リマ

シタコトモアリマスカラ、或ハ他ノ方ヨリ

既ニ質問ヲセラレタコトガアルカモ存ジマ

セヌガ、重複スル所ガゴザイマスレバ、委

員長ヨリ御注意ヲ願ヒマシテ、既ニ質問ニ

ナツテ居ルコトハ省略スルコトニ致シマス、

私ノ第一ニ御伺ヒ致シタイ點ハ、市町村義

務教育費國庫負擔法ノ此精神ヨリ致シマシ

テ、將來ノ政府ノ方針デアリマスガ、此負

擔法ハ、市町村ノ小學校經營ニ關スル總テ

ノ經費ヲ、市町村即チ地方自治體ト政府ト

分擔スル意味ニ於テ、此負擔法方制定セラ

レタノデアルト信ジマス、故ニ第三條ニ於

キマシテ、此負擔法ニ依ルソレゾレノ金ヲ

分布致シマス各條ニ付キマシテ、ソレヲ考

慮致シマシテ、大部分ハ小學校ノ教員數、

竝ニ就學兒童數ニ比例シテ交付スルト云フ

コトニ、第三條ニ規定サレテ居リマス、此

精神カラ行キマス、参考書ニ依ツテ、各府

縣ノ小學校教員ノ増加數、即チ小學校ノ學

級ガ増加致シマシタ關係ニ於テ、教員ガ増

加致シテ居ルノデアリマス、尙ホ學齡兒童

ノ増加ニ伴ヒマシテ、自然學級モ増加セラ

付託議案

市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法中改正法
律案(政府提出)
義務教育費臨時補充金交付法案(野田文一郎君
外四名提出)
公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案
(政府提出)

レノデアリマスガ、就學兒童數ニ比例シ

テ交付スルト云フ點ニ付キマシテハ、教員

ノ増加ト學齡兒童ノ増加ニ伴ヒマシテ、第

三條ノ適用カラ行キマス、此法律案ノ精

神カラ行キマス、此増加ニ伴ヒマシテ、

毎年度國庫負擔金ヲ增額計上ヲセラレナケ

レバナラス精神デハナカラウカト存ジマ

ス、此點ニ付キマシテ文部當局ノ御考ヲ伺

テ置キタイ

○下村政府委員 只今ノ御質問ニ對シテ御

答ヲ致シマス、市町村義務教育費國庫負擔

ノ制度ハ、只今御述ニナリマシタヤウニ、

市町村ノ財政ノ輕減ト、併セテ教育ノ改善

ト云フコトヲ行フ爲ニ設ケラレタモノデア

リマシテ、制定以來數回負擔金ガ増額サレ

マシテ、當初ハ一十萬圓デアッタノデアリマ

スガ、前後數回ノ改正ノ結果、只今ノヤウ

ニ八千五百萬圓ニナツテ居ル次第デアリマ

ス、御話ノ通り教員數、兒童數ハ、年々幾

ラカ増スノデアリマスガ、ソレト相對シテ

此金額ヲ増スカドウカト云フコトハ、是ハ

國家ノ財政上餘程考慮ヲ要スル問題デア

リマスカラ、私ヨリ御答辯申上ゲルコトハ、實ハ差控ヘタガ宜イカトモ考ヘマスガ、兎ニ角中央地方ノ財政ニ取リマシテ、容易ナラヌ關係ガアリマスカラ、只今ノ御趣旨ノヤウニ、教員數、兒童數ノ増加ニ伴ッテ、比例的ニ之ヲ増スト云フコトハ、餘程困難ナコト、考ヘテ居ル次第アリマス

○宮本委員 學齡ノ兒童ノ増加ニ伴ヒマシテ、學級ノ著シク増加セラレルト云フコトハ、參考書ニ依ッテ明カデアリマス、隨テ此數字ハ申述ベマセス、此學級ノ増加ニ伴ヒマシテ、市町村ノ教育費ガ毎年著シク増加セラレルト云フコトモ、無論御認メニナツテ居ル所デアルト存ジマス、其關係カラ致シマシテ、目下市町村ハ豫算ノ編成時期ニナツテ居ルノデアリマスガ、色々ナ關係ニ於キマシテ、非常ニ市町村豫算ハ編成難ノ爲ニ、關係議會ガ紛糾ヲ來シテ居ル現在ノ實例ガ大分多イノデアリマス、是ハ主トシテ市町村ノ豫算増加ハ教育費ニアルノデアリマス、教育費ノ増加セラレルト云フコトハ、即チ學級ノ増加ニ伴フノデアリマス、此原因ヨリ致シマシテ、市町村ノ教育費ノ増加ニ付テハ、國庫負擔法ノ精神カラ參リマス、當然是ハ市町村ノ増加セラレベキ教育費ヲ、國庫ガ負擔スル意味ニ於キマシ

テハ、年々増加ヲセラレナケレバナラヌ問題デアラウト存ジマス、尙ホ是ハ三箇年間ノ臨時補助ノ制度ニ付キマシテ、之ヲ改正セラレルト云フノデアリマスガ、是カラ致シマス、是ハ十年一度ニ——十年一度一箇年ダケノ問題デアリマス、將來ノ事ハ、此機會ニ於キマシテ御伺スル場合デナイカモ知レマセヌガ、十年度限りデ是ガ打切ラレルト云フコトニナリマス、現在ノ狀況カラ行キマス、此負擔金ノ増加ヲスルニ非ザレバ、市町村ノ教育費ノ豫算ハ編成難ニ陥ル、現在既ニ編成難ニ陥ッテ居ルノデアリマス、是ハ實ハ大臣ノ御答辯ヲ得タイノデアリマスガ、御出席ニナツテ居リマセヌカラ、文部省ノ將來ニ對シマシテ、小學校ノ現在ノ學級増加ニ伴フ經費ノ増加ニ對シテ、ドウ云フ御考デアルカト云フコトヲ、今少シク御説明願ヒタイ

○添田政府委員 第三條ノ規定ニ、教員ノ數及就學兒童數ニ比例ヲシテ配當ヲスルト云フコトハ、御説ノ通りニ書イテアリマス、併シ只今ノ御話ノ通りニ、學級數ガ増加スル度ニ、其配當ヲ増加スルト云フ意味合デハナイノデアリマス、八千五百萬圓國庫ガ負擔ヲスルト云フコトハ、法律ニ決メラレテ居ルノデアリマシテ、其限度ノ範圍内デ

配當ヲシテ行カナケレバナラヌノデアリマス、法律ニ依ッテ此八千五百萬圓ヲ増加シテ行ケバ、ソレハ別デアリマスケレドモ、今日ノ法律ノ建前カラ見レバ、八千五百萬圓ト云フ所ニ限定ヲサレテ居ルノデアリマスカラ、其範圍デ配當ヲスル、教員及就學兒童數ニ依ッテ比例ヲシマスケレドモ、必シモ之ヲ増ス譯ニハ參ラヌ譯デアリマス、而シテ此國庫負擔額ヲ増加スルト云フコトハ、今日ノ財政狀態カラ考ヘマシテ、餘程困難ナ事デアラウト考ヘテ居リマス、又今回提出ヲ致シマシタル臨時國庫補助法ハ、十年度打切ラレテ居ルト云フコトハ、非常ニ困ルト云フ御意見デアリマシテ、其御意見ノ起ッテ來ル事情ニ付キマシテハ、政府トシテハ洵ニ諒ト致シマス、併シ何分是モ財政上ノ關係ヨリ出テ居ル問題デアリマスカラ、將來永久ニ此國庫補助ヲスルト云フコトヲ、今此處デ御約束スル譯ニハドウモ參リ兼ネルノデアリマス、十一年度ニ於キマシテハ、十一年度ノ財政狀態ニ依ッテ、篤ト政府部内ニ於テ協議ヲ遂ゲマシテ、成ベク地方ノ事情ニ應ズルヤウナ方針ヲ進ミタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○宮本委員 是ハ事務的關係ニナリマシテ、市町村ノ豫算編成ニ付キマシテ、一般教員俸給ハ、是ハ減額スルコトハ出來ナイノデアリマスガ、若シ豫算編成難ニ陥リマシテ、之ヲ減額スルト云フコトヲ村會デ決議ヲ致シマシタ場合ニハ、文部省ノ御取扱ハドウ云フ風ニナリマスカ

○下村政府委員 只今ノ御尋デアリマシテ、今日大體全國ヲ平均致シマスルト云フト、尋常小學校教員俸給ノ、彼此レ六割近クヲ負擔シテ居ルヤウナ狀態デアリマシテ、相當國ノ方ガ餘計負擔ヲシテ居ル譯デアリマス、サウシテ市町村ノ方ノ財政モ困難デアリマスルカラ、教員ノ俸給ノ負擔ガ過重デアルト云フ爲ニ、豫算編成ガ困難ニナルト云フ場合モナキニシモアラズ、サウ云フ事ニ付キマシテハ、今日ノ負擔法ニ、特別町村ニ對スル特別増加交付ノ規定ガアリマスカラ、サウ云フ方法ニ依リマシテ、成ベク調節ヲ圖ッテ行キタイ、サウ云フ町村ニ對シテハ、特別ニ餘計交付金ヲ増シテヤルト云フヤウナ方法モ講ズル譯デアリマシテ、吾々ト致シマシテハ、教員俸給ノ減額ノ決議ナドヲ爲サルコトヲ切ニ希望シテ居ルノデアリマス、又左様ナ事ハ政府當局ト致シマシテ、現ニ正當ナ辭令ヲ受ケテ、其辭令ニ相當スル俸給ヲ貰ッテ居ル教員及

官吏ニ對シテハ、サウ無法ナ決議ナドモ、是ハ出來ナイノデアリマスカラ、シテ吳レナイダラウト考ヘテ居ルノデアリマス、但シ處ニ依リマシテハ、多年勤続シテ居ル其爲ニ、其教員ノ俸給ガ高クナッテ居ル、ソコデ他ニ轉任ヲサシテ、師範學校卒業位ノ割合安イ教員ヲ入レテ、其間ニ俸給等ノ調節ヲ圖ルト云フヤウナ方法モ講ゼラレル譯デアリマシテ、其邊ハ地方當局、市町村ノ當事者ガ、按排好ク協議ヲ遂ゲテ善處セラレンコトヲ希望シテ居ル次第デアリマス

○宮本委員 文部省トシテハ、其御希望ハ當然ナ事ト考ヘマスカ、市町村ガ小學校ヲ經營シテ行クト云フコトニ付キマシテハ、父兄ガ此經費ヲ負擔スルコトニ付キマシテ、色々ナル事情ノ上カラ、市町村長ハ豫算ノ編成モセンケレバナラヌノデアリマス、一旦決議致シマシタ平均俸給額ガ減額ノ決議ガ出來ナイ、又諒解致シマシテ寄附等ノ行爲ニ依リマシテ、自治體ノ財政ヲ緩和スルト云フヤウナコトハ、是ハモウ事情ニ依リマシテ教員ガ諒解ヲシテ居ルノデアリマス、サウ云フ場合ニ於キマシテモ、或ル學校ガ左様ナ事ヲ致シマスト、ソレガ自然ニ波及致シマシテ、大分廣イ方面ニ影響スルト云フヤウナコトデ、中々府縣學務當

局ハ之ヲ許サヌノデアリマス、市町村ノ教育ノ精神ニ依リマシテ、教員ト父兄ノ間ニ金錢上ノ事ヲ論議スルコトハ、教育ノ效果ノ上ニ於キマシテモ、亦兒童ノ心理状態ニモ、若干是ガ知レルト云フコトハ、甚ダ面白カラヌ事デアリマス、自然町村ノ經濟事情ヨリ致シマスレバ、教員俸給ガ高イト云フ聲ガ、殆ド全國ニヤカマシクナッテ居ルト云フコトハ事實デアリマス、少シク質問ノ趣旨ガ、他ノ實例ニ互ルカモ知レマセヌガ御許シテ願ヒマス、大體此表カラ致シマシテモ、全國ノ教員ノ平均俸給ハ五十六圓七十九錢ニナッテ居ル、町村ニ於キマシテ六百圓以上ノ年收ヲ見マス者ハ、土地ノ所有者ニ於キマシテハ、殆ド年收六百圓以上ノ現金收入ヲ得ルト云フヤウナ地主ハ、無イ町村ガ大變多イノデアリマス、又小作米ヲ二百俵位受入レマス地主ハ、是ハ地方ニ於キマシテ有力ナル地主ト認メラレテ居ルノデアリマス、二百俵ノ小作米ヲ取りマス者ガ、現在ノ米穀統制法ニ依リマシテノ最高價格ニ賣レルト云フコトニナリマシテモ、稅ヲ負擔致シマスト、一俵僅ニ二圓カ二圓五十錢、然ルニ教員ハ、他カラ來テ居リマス者ハ若干經費ガ掛ルノデアリマスカ、其村ニ居ル者ガ其村ノ小學校ニ奉職シテ居ル場合

ニ於キマシテハ、ソコニ非常ナル現金收入ノ關係カラ致シマシテ、勢ヒ市町村ノ豫算ノ大部分ヲ占メテ居ル教育費ニ對シマシテ、色々ナル論議ガソコニ起ルノデアリマス、之ヲ緩和スルニハ平均俸給ヲ減額スルカ、或ハ寄附行爲ニ依ルカト云フヤウナコトガ、一ツノ方法デアリマシテ、餘リ父兄ノ間ニ論議セラレナイト云フコトガ、學齡兒童ノ心理状態ニハ好影響ヲ與ヘルコトデアラウト存ジマスカ、其緩和スルコトガ、中地方廳ノ學事行政ニ於キマシテハ、監督ノ方針ト申シマスカ、緩和スルト云フコトガ出來ナイ實情ニアルノデアリマス、之ニ付キマシテ文部當局ハ、唯耳デ聞クダケデナク、實際ヲ見タ上ニ於キマシテ、此負擔法ニ依リマシタ精神ニ依ッテ、之ヲ増額シテ左様ナ事實ノ起ラナイヤウニスルカ、又他ニ之ヲ緩和スル方法ガアルナラバ、之ヲ講ズルト云フコトデ、其實情ニ即シテ、教育費ノ市町村ニ於ケル豫算經理ヲ爲サシメルト云フコトモ、一ツノ方法デアラウト存ジマス、此邊ノ實情ニ付キマシテノ御考ハ如何デアリマスカ

○添田政府委員 小學校ノ教員ノ俸給ガ、農村ニ於テノ各農民ノ收入ニ比較ヲシテ或ハ多過ギル、隨テ農村ノ經濟ガ段々ニ逼迫

ヲシテ居ルト云フ實情ノ下ニ於テハ、學校教員ノ俸給ヲ減額シ、若クハ寄附行爲ニ依ッテ、之ヲ緩和スルト云フコトハ已ムヲ得ナイト云フ御意見ハ、私必シモ宮本君ノ御意見バカリデナク、他ノ方面ヨリモ往々耳ニスル所デアリマス、地方ニ參リマスト云フト、サウ云フヤウナ聲ヲ能ク聞キマス、殊ニアノ昭和七年頃、時局匡救ノ豫算ガ計上サレタ當時ニハ、殊ニサウ云フ聲ヲ聞イタノデアリマス、一應農村ノ事情カラ見レバ、御尤ナヤウニモ感ゼラレルノデアリマスルガ、併シ此學校教員ノ俸給ナルモノハ、御承和ノ通り多年ノ制度ニ依リマシテ設ケラレタル所ノモノデアリマス、其俸給ヲ減額スルト云フコトハ、學校教員ノ心理状態ニ及ボス影響ト云フモノハ、決シテ少クナイヤウニ考ヘマス、デ只今申シタヤウナ農村ノ教師ニ對スル聲ガ、私ハ過去ノ教育上ニ、却テ惡イ影響ヲ及ボシテ居ルモノト實ハ考ヘテ居リマス、小學校ノ教員ノ中ニハ、色々ノ家庭ノ事情ノアル者モアリマセウケレドモ、大體カラ申シテ、今日ノ俸給ニ依ッテソレデ十分デアッテ、剩餘ノアルモノトモ考ヘラレマセヌ、又職務ノ執行上カラ鑑ミマシテモ、私ノ見ル所ニ依レバ、各學校ノ中ヲズット見テ見マスルノニ、小學校

ノ教員ホド私ハ能ク働イテ居ル者ハ少イト
 思フ、小學校ニ於テ教室ニ於テノ職務ニ從
 事スルノミナラズ、或ハ青年團ノ指導ト申
 シ、處女會ノ指導ト申シ、隨分小學校校長
 ヲ初メ小學校教員ト云フ者ハ、地方ノ教育
 ノ上ニ從事ヲ致シテ、勤勉ニ勤メテ居ルト
 思フノデアリマス、是等ノ勤勉ニ從事シテ
 居ル所ノ教員ノ俸給ヲ、或ハ農民ノ生活カ
 ラ較ブレバ、收入ガ多過ギルヤウニ見エル
 カモ知レマセスケレドモ、一時ニ之ヲ減額ス
 ルト云フヤウナコトハ、餘程是ハ私ハ憤マナ
 ケレバナラスコトデナカラウカ、サレバト
 言ツテ、町村ノ財政ガ惡イノヲ見捨テ、置ク
 譯ニハ參リマセヌ、是ニ於テ一面ニ國庫負
 擔法ノ規定ガアルニ拘ラズ、尙ホ臨時國庫
 補助ノ方法ヲ設ケテ、今日迄三箇年續ケテ
 參ツタ、其三箇年デ一旦打切ラル、モノヲ、
 十年度ハ更ニ引續キヤラウト、實ハ苦心ヲ
 致シテ居ル譯デアリマス、政府モ財政ガ頗
 ル裕カデアリマスレバ、又方法ヲ講ズル途
 モアラウト思ヒマスケレドモ、今日ノ御承
 知ノ財政状態カラ考ヘマシテ、此處マデ心
 配ヲ致シテ居ルト云フコトモ、餘程政府ト
 シテ努力ヲ致シテ居ル結果デアリマス、農
 村ノ經濟状態ノ如キモ、成程米價ガ非常ニ
 下落シテ居ル際、農村ノ經濟ハ段々逼迫

ヲシテ參ッテ、サウ云フ比較論ガ往々ニシテ
 起ルノデアリマスルガ、嘗テ大正七年頃、
 米價ガ極メテ騰貴シタ時代、學校教員ノ俸
 給ハ、其時ニ増額サレタノデアリマスルケ
 レドモ、而モ尙ホ一般ノ好景氣ノ状況カラ
 見レバ、農村ニ於ケル俸給生活者デアル小
 學校ノ教員ノ收入ト云フモノハ極メテ少ナ
 カッタ、其時分ニ農村ノ人々ハ、小學校ノ先
 生ハ氣ノ毒ナ者デアル、アレバカシノ俸給
 デ一體ドウスルカト云フ位ニ、實ハ思ハレ
 タ時モアルノデアリマシテ、農村ノ經濟狀
 態ニ依ツテ色々ノ批評モ受ケ、比較モサレル
 ノデアリマスルガ、併シ是ハ小學校ノ教員
 ノ俸給ナルモノハ、昔カラ所謂俸給令ニ依ッ
 テ支給サレテ居ル、是ハ容易ニ減額シタリ
 スルモノデナカラウト私ハ思フ、教員ガ本
 當ニ任意ニ町村ノ財政ヲ顧ミテ、自分モ幾
 分デモ寄附ヲ致シタイト云フヤウナ美談モ
 アリマス、併シ寄附行爲ト言ヒマシテモ、
 事ニ依リ場合ニ依レバ、ソレハ殆ド半強制
 ニナリマシテ、減俸ヲ寄附ノ形デ強ヒラレ
 テ居ルヤウナ狀況ニ陥ッテ居ル所モアルノ
 デアリマス、斯ウ云フコトハ餘程慎重ニ農
 村ニ於テモ考ヘテ貫ハナケレバナラス、職
 員ノ思想ニ及ボス影響ヲ考ヘテ見レバ見ル
 程、極メテ重大デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘ

テ居ル次第デアリマス
 ○宮本委員 事務的關係ニ付キマシテ、モ
 ウ一遍御伺ヒシマス、高等科ニ學年ニ對シ
 マシテ、教員ヲ三名任用スルト云フコトガ
 大體ノ方針ニナツテ居リマスガ、是ハ實際ノ
 教授上ニ於キマシテハ二名モ差支ナイ、此
 場合ニ三名はマデ任用シテ參リマシタノ
 ヲ、二名ト云フコトニ豫算ヲ變更シタ場合
 ニ、ドウ云フ御取扱ヲナサイマスカ、此點
 ヲ一ツ伺ヒタイ
 ○下村政府委員 小學校ノ教員ノ配置ニ付
 キマシテハ、小學校令施行規則ガアリマシ
 テ、其規定ニ準據シテ學校ニ教員ヲ置クコ
 トニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ高等小
 學ノ方ニナリマス、或ハ實業其他土地ノ
 狀況ニ應ジテ、必要ナル職員ヲ置カナケレ
 バナラスコト云フコトニナツテ居リマス、隨テ
 學級擔任ノ教員ガケデハ足ラスコト云フ場合
 ガ起リマス、例ヘバ商業ヲ教授スルトカ云
 フコトニナリマス、學級擔任ノ教員デ
 ハ、商業ノ教授ガ困難デアル、ソレ故ニ商
 業ノ專科教員ヲ置カナケレバナラスコト云フ
 コトニナリマシテ、自然尋常小學校ニ較ベ
 マスト、高等小學校ノ方ハ教員數ヲ多ク要
 スルコトニナル譯デアリマス、併シ其邊ノ
 コトハ地方監督官廳タル地方長官ガ、其町

村ノ財政、小學校ノ狀況等ヲ判斷致シマシ
 テ、適當ニ裁量スル餘地ガアルト考ヘテ居
 リマス
 ○宮本委員 只今質問致シマシタ點ハ、地
 方ノ實情ニ依ツテハ差支ナイト府縣知事ガ
 認メレバ、ソレデ宜シイト云フ文部省ノ御
 方針デスカ
 ○下村政府委員 ソレハ例ヘバ商業ナラ商
 業ト云フ科目ヲ置クト云フ場合ニ、商業ノ
 教員ヲ置ク、或ハ工業ノ教員ヲ置クト云フ
 場合、ソレヲ二人ノ專科正教員デヤラセル
 カ、一人ノ專科正教員ニ受持タセルカト云
 フコトハ、知事ニ於テ裁量ノ餘地ガアルノ
 デアリマス、小學校令施行規則ヲ見マス
 「高等小學校ニ於テハ其ノ學級數ニ等シキ
 員數ノ本科正教員ヲ置クノ外教科目、教授
 時數、兒童數等ニ應ジ必要ナル員數ノ本科
 正教員又ハ專科正教員ヲ置クヘシ」斯ウナッ
 テ居リマシテ、其必要ナル員數ト云フコト
 ノ認定ハ、知事ノ裁量デ決マル譯デアリマ
 ス、ソコニ斟酌ノ餘地ガアル、斯様ニ申上
 ガタ次第デアリマス
 ○宮本委員 學齡兒童ノ増加ニ伴ヒマシ
 テ、學級ガ増加シ、教員ガ増員セラル、爲
 ニ、教育費モ年々増加スルト云フコトハ、
 是ハ御認メニナツテ居ルコトデアラウト思

ヒマス、只今御答辯ニナリマシタ寄附等ノ關係ニ付テ、教員ノ心理狀態ニ影響ヲスルコトガ、小學校教育ノ效果ニ憂フベキ點ガアルト云フ御答辯ガアリマシタガ、是ハ議論ニ互ル嫌ガアルカモ知レマセヌガ、私ハ市町村ノ實情ニ依リマシテハ、父兄ト學校トノ間ニ、極メテ圓滿ニ精神的ニ共通スルト云フコトガ、教育ノ效果ヲ舉ゲル所以デアラウト存ジマス、僅ナル金額ノ關係ニ於テ、ソレニ教員ガ脅威ヲ感ジテ、授業上ニ影響スル等ノコトデハ、本當ノ教育家トハ言ヘナイノデハナイカ、又若シ左様ナコトガアルト致シマスレバ、三百萬圓前年ヨリ減額シタコトニ付キマシテモ、市町村ノ豫算編成ハ非常ニ困難ヲ來シテ居ルト云フコトハ、是ハ能ク御承知ノ點グラウト存ジマス、ソレヲ十年限リト云フコトニ致シマシテ九百萬圓、十一年度ハドウナルカト云フコトデハ、町村當局ト致シマシテ、豫算編成ノ上ニドウスルカト云フコトヲ非常ニ憂ヘテ居ル、又一面ニハ小學校教員ニ於キマシテモ、何トカ是ハ負擔金ノ増額ヲスルカ、之ヲ尙ホ永久的ニ續ケルカト云フヤウナコトニシマセヌケレバ、三百萬圓ノ問題デスラモ、町村ニ於キマシテ豫算編成ニ非常ニ困難ヲ來シテ居ル、隨テ自分達ノ俸

給等ノ關係モドウナルカト云フヤウナコトデハ、非常ニ是ハ教員自身ニモ、只今御心配ノ其心理狀態ト同様、心配サレル問題デアラウト思ヒマス、此點ニ付テ只今ノ御答辯カラ行キマス、餘程此點ハ心配シテ戴カナケレバナラス點デアラウト思ヒマス、此點ニ付テ今少シ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス、

○添田政府委員 實際問題ト致シマシテ、

父兄ト學校職員トノ間ニ、極メテ美談的ノ圓滿ナル方法ガ付クモノト假定シマスルナラバ、ソレハ大シク影響ハ無論ナイコト、存ジマス、併シ今日迄ノ經過カラ申シマス、表面寄附行爲ト云フ居ルケレドモ、實ハ強制的ニ減額ヲサレタノダト云フヤウナ感じヲ有ツテ居ル人間ガ随分多イノデアリマス、是ガ私ハ實情ダト思ッテ居リマス、一人ヤ二人ハ非常ニ美談的ナノモアリマス、ソレデアリマスカラ、苦情ガ表面出テ來ナイカラト云フテ、ソレデ必シモ圓滿ニ治ツテ居ルモノト考ヘルコトハ、少シ早計デハナイカト思フノデアリマス、併ナガラ地方ノ、殊ニ農村ノ財政ガ教育費ノ爲ニ年々苦シメラレテ行ク、學級モ年々増加シテ來ル、經費モ膨脹シテ來ル、而モ國庫ノ負擔金ハ定メラレテ居ッテ一向増加シナイ、何トカ方法

○宮本委員 簡單ニ申上ゲマス、實ハ義務

教育費ノ國庫負擔法ニ關シマシテ、數年前政友會ハ、地方財政問題トシテハ地租委讓ヲ主張シ、民政黨ハ義務教育費ノ國庫負擔ノ増額ヲ主張セラレタノデアリマス、地租委讓ノ問題ハ、是ハ別問題デアリマスガ、現内閣ハ民政黨内閣デハゴザイマセヌガ、文部大臣竝ニ政務次官、參與官等ノ方々ハ、民政黨ノ御出身デアリマシテ、必ズヤ地方

ヲ考ヘナケレバナラナイト云フ、此實情ニ付キマシテハ、私共モ實ハ御同感ニ存ズルノデアリマス、何トカシテ地方ノ財源ノ途ヲ開イテ行カナケレバナラスト思フ、私ハ今日ノ地方制度ノ改善ノ上カラシテモ、此問題ハ一番重要ナル問題デアルト考ヘテ居リマス、必シモ教育費ノ國庫負擔額ヲ増加スルバカリガ問題デハナイ、廣ク地方ノ財政ト云フ上カラ研究ヲシナケレバナラスコト、思フノデアリマシテ、是ハ文部省ノ關係トシテ御答辯ヲ申上ゲルコトハ、差控ヘタイト思ヒマスケレドモ、政府トシテハ當

○宮本委員 簡單ニ申上ゲマス、實ハ義務

然是等ノ地方財政ノ上ニ考慮ヲ施シテ居ル次第デアリマス、又根本的ノ問題ニ付キマシテハ、今回出來ル所ノ審議會ナドニ付議ヲ致シマシテ、十分研究ヲ致サナケレバナラスコト、存ジテ居ルノデアリマス

○宮本委員 簡單ニ申上ゲマス、實ハ義務

教育費ノ國庫負擔法ニ關シマシテ、數年前政友會ハ、地方財政問題トシテハ地租委讓ヲ主張シ、民政黨ハ義務教育費ノ國庫負擔ノ増額ヲ主張セラレタノデアリマス、地租委讓ノ問題ハ、是ハ別問題デアリマスガ、現内閣ハ民政黨内閣デハゴザイマセヌガ、文部大臣竝ニ政務次官、參與官等ノ方々ハ、民政黨ノ御出身デアリマシテ、必ズヤ地方

ノ教育費ニ對シマシテノ實情ノ點カラ、義務教育費ノ國庫負擔法ニ依ル金額ヲ増加セラ、政策ヲ御立テニナルカ、或ハ又臨時補助法ニ依リマシテ緩和セラレルカト云フコトハ、内閣ハ民政黨内閣デハゴザイマセヌケレドモ、大臣初メ民政黨ノ方々ガ御關係デアリマスカラ、地方民ハ非常ニ此問題ハ期待シテ居ッタノデアリマス、ソレガ三百萬圓モ減額セラレルシ、十年度一箇年限リダト云フコトハ、御心配ニナル小學校教員ノ物質上ノ待遇ノ點カラ行キマシテモ、一層心配ヲセラル、コトニナラウト存ジマス、是ハ地方財政ノ事情カラ致シマシテモ、亦國庫ガ地方ニ金ヲ交付スル關係カラ致シマシテモ、將來ハッキリシナケレバナラス、自分達ノ物質上ノ待遇ガドウナルカト云フコトハ、只今御答辯ノ中ニ御心配セラレテ居ルト同様ナ意味ニ於キマシテ、何トカ之ヲ近キ將來ハッキリセンケレバナラス問題デアラウト存ジマス、是レ以上申上ゲルコトハ議論ニ互リマスシ、尙ホ希望ニ互リマスカラ、是ダケノ事ヲ申上ゲマシテ、此事項ノ質問ハ打切りマスガ、尙ホ簡單ニモウ一點御伺致シテ置キタイコトハ、授業料ノ問題デアリマス、矢張市町村ガ豫算ノ編成難ノ關係カラ致シマシテ、小學校ノ授業料ヲ

徴收スル問題ガ、大分市町村ノ豫算編成ニ付キマシテ問題ニナツテ居リマス、其實例ト致シマシテハ、現在豫算審議中ニ非常ナル紛糾ヲ來シテ居ルト云フ實例ガ目下アルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ、過日加藤君ヨリ質問セラレマシテ答辯ガアッタヤウデアリマスガ、尙ホ是ハ單ニ地方ノ財政ガ困憊ノ結果授業料ヲ徴收スルノデナク、尙ホ一面ニハ、色々ナ事業ノ關係ニ於キマシテ起債等ヲスル場合ニ、内務、大藏兩省當局ニ於キマシテ、或ハ其財源ノ一部ニ授業料ヲ徴收スルコトモ差支ハナイデハナイカト云フヤウナコトガ、一ツノ裏面的條件ニナツテ居ルノデハナイカト云フコトモ窺ハレルノデアリマス、是ハ文部省ト致シマシテハ、市町村議會方之ヲ決議致シマシテ、ソレトモ徴收ノ手續ヲ運ンデ參リマシテモ、絶對ニ徴收ヲサセナイト云フコトヲ、ハッキリ此機會ニ御伺シテ置キタイト思ヒマス

ニハ、即チ已ムヲ得ザル場合ニハ、之ヲ徴收スルト云フ途ガ開カレテ居ルノデアリマス、文部省ト致シマシテハ、何處迄モ義務教育ノ上ニ授業料ヲ徴收スルト云フコトハ、出來得ル限り避ケタイト考ヘテ居リマス、併シ此授業料ニ對シテノ許可ハ、府縣知事ガ之ヲ爲スコトニナツテ居リマシテ、府縣知事ニ於キマシテ、其市町村ノ財政状態カラ見マシテ、ドウシテモ授業料ヲ徴收シナケレバナラヌト云フ認定ノ下ニ、之ヲ許可シタ場合ニ於キマシテハ、其内容ノ如何ヲ見テ、文部省トシテモ之ヲ認めナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ今ノ御話ノ中ニ、何カ大藏省デ以テ條件ニシタトカ云フヤウナ御話モアッタヤウデスガ、ソレヲ條件トスルト云フコトハ決シテナカラウト思ヒマス、過去ニ於テモサウ云フ事實ハナイト思ヒマス

唯名古屋ダケデアレバ、大シタコトモナイト思ヒマスガ、今宮本君カラ御話ニハナリマセヌケレドモ、先程此處デ伺ヒマスルト、清水市アタリニモ、矢張大藏省ノ理財局長ガドウデアアル、斯ウデアルト云フヤウナコトデ問題ニナツテ居ル、サウスルト大藏省ハサウ云フ考デ、起債ナドノ時ニ方々ニ其事ヲ話シテ居ルノデハナイカト思ヒマス、隨テ文部省カラ——府縣知事ガ小學校、殊ニ尋常小學校ノ生徒カラ授業料ヲ徴收スル、斯フコトニ付テハ、豫メ文部省ノ指揮ヲ受ケテ、府縣知事ガ認可ヲスルヤウナ手配ヲ一ツシテ戴カナクテハ、折角文部大臣及文部當局ガ御考ニナツテ居ッテモ、其精神ガ徹底ヲ缺クコトガアリハシナイカ、斯ウ心配致シマスガ、私ハ是非通牒デモ御出シニナツテ、各府縣共ニ唯知事ノ裁量ニ任セテ置クト云フコトニナラスヤウニシテ戴キタイト思ヒマスガ、其點ニ付テ當局ノ御意見ヲ承リタイ

云フ點カラ見レバ、御尤デアリマスケレドモ、全體ノ行政事務ヲ簡捷ニシテ行クト云フ立場カラ見レバ、考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、併シ御話ノ點モ御尤ニ存ジマスカラ、サウ云フ點モ十分ニ研究シテ見タイト思ッテ居リマス

○川口委員長 私カラ一寸今ノ問題ニ關聯シテ——府縣知事ニ對スルコトハ別ニシテ、大藏當局ガ起債ヲ許可スル場合ニ、條件トマデハ行カナクテモ、少クトモ或ル「ヒント」ヲ與ヘルト云フヤウナコトガ屢々アルヤウデスガ、サウ云フコトガアルト云フト、文部省デ執ッテ居ラレル根本方針ニ背馳スルコトニナルノデスカラ、サウ云フコトノナイヤウニ、文部當局カラ大藏當局ニ對シテ何トカ御話ニナルコトガ、最モ必要デハナイカト思フノデスガ、如何デゴザイマセウカ

○添田政府委員

授業料ノ問題ニ付キマシテハ、實ハ先般此委員會ノ席上デモ大臣ヨリ答辯ヲ致シタノデアリマス、即チ義務教育デアリマスル以上ハ、授業料ヲ徴收スルト云フコトハ、原則トシテハ是ハ認メテ居ラス、唯町村ノ財政上特別ノ事情ガアル時

○木村委員

一寸關聯事項デ伺ヒタイ、今ノ授業料徴收ノ問題ハ、先般來非常ナ問題ニナツテ居リマシテ、私モ非常ニ憂慮シテ居ル者デアリマスガ、只今政務次官カラ御話ニナツタヤウニ、是ハ府縣知事限リト認可ガナツテ居ルノデ、今ノ儘ニシテ置ケバ、文部省ハ唯報告ヲ後デ見ル、斯ウ云フヤウナコトニナツテ實ハ心配ニ堪ヘナイノデアリマス、

○添田政府委員

如何ニモ大藏當局ガ條件的ニ、之ヲ徴收シナケレバ起債ノ認可ガ難カシイノダト言ッテ、ナニシタヤウナ御話ニナツテ居ルノデアリマスルガ、併シ今迄ノ事實ハ、之ヲ以テ條件トシタト云フヤウナコトハ、實際無イノデアリマス、唯併シ斯ウ云フコトハアルノデス、起債ノ認可ト云フコトニ付テハ、大藏省モ相當ニヤカ

マシク監督スルノデアリマス、而シテ小學
校令ニハ、特別ノ事情ノアル場合ニハ授業
料ヲ徴收スル途モ開カレテ居ル、ダカラシ
テ先ヅ借金ヲスルヨリ、一ツ授業料デモ上
ダカラ宜カラウヂヤナイカト云フコトハ、
是ハ普通常識ノ上カラ言ウテ、ツイサウ云
フ考ハ出ヤウト思ヒマス、名古屋市デモ、
詰リ其事デアッタト云フコトデアリマス、デ
アリマスカラ、極ク輕イ意味ニ於テ吾々ハ
之ヲ處置ヲシテ居ルノデアリマシテ、ソレ
ガ爲ニ文部省ガ知ラナイモノヲ、授業料ノ
徴收ヲシナケレバ、此認可ハ出來ヌゾト云
フ所マデ行クコトハ、大藏當局トシテモ爲
スマイト思フ、又爲サナイヤウニシタイト
思ッテ居リマス、其邊ハ一ツサウ御承知ヲ
願ッテ置キタイト思ヒマス

○宮本委員 大分時間ヲ費シマシタカラ、
他ノ機會ニ御伺ヒスルコトガ出來ルコトハ
御伺ヒスルコトニ致シマシテ、此程度デ質
問ヲ止メルコトニ致シマス

○川口委員長 ソレデハ末松君

○末松委員 教育ノ根本問題ニ付キマシテ
ハ、色々御尋シタイトモアリマスケレド
モ、本委員會、殊ニ此法案ニ付テハ、是ハ
早く貴族院ニ廻スト云フ必要モアリマセウ
シ、又私モ外ノ委員會ニ關係シテ參ラナケ

レバナラスト云フ關係上、最モ簡單ニ此法
案ニ直接關係ノアルヤウナ、根本問題ノ二
三ニ付テ今日御伺致シタイト思フノデアリ
マス、ソレハ丁度宮本君カラ御話ニナッタ
コトハ、是ハ教育上非常ニ重大ナ問題デア
リマス、何故サウ云フコトニナルカト云フ
ト、ソレハ今ノ師範教育ヲ維持スルヤ否ヤ
ト云フコトニナルカラデアリマス、御承知
ノ如ク高等師範初メ府縣立師範學校ノ卒業
生ト云フモノハ、今ノ社會事情カラ言ヘバ、
他ノ學校ニ較ベテ甚ダ不當ニ高イ初任給ヲ
以テ採用スル、而モ一定ノ年限ニ付テハ次
第々々ニ上ッテ來テ、ソレガ爲ニ教育ノ費用
ガ非常ニ高マル、私ハ其點ニ付テ御伺シタ
イノハ、高等師範ノ卒業生ヨリ——是ハ此問
題ニ直接關係致シマセスケレドモ、配當ス
ルニハ、餘リ不便ヲ感ジナイケレドモ、働
キ盛リノ人ヲドン／＼首ヲ鹹ラナケレバ、
高等師範ノ卒業生ヲ配當スルト云フコトガ
困難ナヤウナ狀況ニ移リツ、アルノデハナ
イカ、隨テ今日マデノ配當狀況ハ、ドウ云
フ風ニナッテ居ルカト云フコトヲ、文部當局
カラ御伺シタイトデアリマス、本問題ト直
接關係ノアル府縣立師範學校ノ卒業生ヲ、
ドウ云フ風ニ配置シテ居ルカ、私ノ見ル所
ニ依レバ、高等師範ト云ヒ、府縣立師範ト

云ヒ、隨分配當ノ爲ニ無理ヲシテ居ル、是
ハ元來師範學校ト云フモノヲ一ツノ專賣特
許ト言ヒマスカ、官公立ノ特殊ノ權限ヲ有ッ
テ居ルヤウナ學校ニシテシマッタノデアリ
マスカラ、ソレ等ノ特權ヲ奪フト云フコト
ハ非常ニ困難デアリマス、今日政務次官カ
ラモ答辯ガアリ、先日ハ文部大臣カラモ初
任給ハ下ゲラレナイトカ、或ハ教員ノ俸給
ハ此程度で行クヨリ仕方ガナイト云フコト
デ、是ハ文部當局トシテハ當リ前ノ話デア
リマス、是ハウツカリ初任給ヲ下ゲタイト
言ツタラ、不信任ヲ食ッテ、文部當局トシテ
ハ永遠ニ生命ヲ失フヤウナコトニナリハシ
ナイカ、是ハ幾ラ文部省ト宮本君ト押問答
シテ見タ所デ、分ル問題デハアリマセヌカ
ラ、是ハ國策審議會等ニ於テ、大ニ研究シ
ナケレバナラヌ問題ト思フノデアリマス、
ソレハ申ス迄モナク帝國大學ヲ初メ各種ノ
學校ヲ卒業シタ者ガ四十圓、五十圓ノ月給
デ行ッテ居ルニ拘ラズ、高等師範卒業生
ハ相當ノ初任給デ、殆ド強制的ニ配當サレ
テ居ル、又府縣立師範學校ノ卒業生ヲ見テ
モ、中等程度ノ學校ヲ出テ居リナガラ、其
初任給調ニ依レバ最少四十圓、多イノハ五
十五圓デアル、四十圓ヤ五十圓ノ金ヲ取ル
ト云フコトハ、今日ノ如キ就職難ノ時代ニ

於テハ、餘程ノ恩典ニナッテ居ルノデアリ
マス、是ハ所謂師範教育トシテ、教授、訓
練ナド到底中學ノ卒業生デハ出來ナイ、或
ハ高等教育ヲ受ケテモ、サウ云フ點デ迎モ
難カシイト文部當局ハ説明サレマスガ、教
授、訓練ト雖モ、相當ノ頭ガアル人ナラ六
箇月カ一年デ出來ルト思フ、若シサウデア
ルナラバ、大學卒業生デモ此初任給デ喜ン
デ來ル人モ相當今アルト云フ時代デアル、
隨テドウシテモ是ハ社會事情ニ適シナイ、
即チ他ノ教育ヲ受ケテ居ル人トノ權衡ガ取
レナイ、又先日來宮本君其他ノ方カラ御話
ニナッテ居ル通り、役場吏員ナドモ隨分酷ク
働イテ居ル、巡查モサウデアル、サウ云フ
コトヲ考ヘ、又況ヤ農村ノ小作人達ノコト
ヲ考ヘテモ、今ノ教員ノ初任給ハ高過ギル、
サウ云フ社會狀態ニ照シマシテ、教育問題
トシテ教員ノ初任給ヲ考ヘルト、多々益、辨
ズルデ、高イコトハ結構デアリマセウガ、
サウ云フコトヲ文部省ガ餘リ押通スコト
ハ、教育全體ヲ壞スモノデアル、況ヤ市町
村ハ教育費ノ爲ニ如何ニ苦ンデ居ルカト云
フコトハ、申ス迄モナイコトデアリマスカ
ラ、吾々ハドウシテモ是ハサウ云フ點ニ付
テ考慮ヲシナケレバナラス、先ヅ初任給ト
云フモノヲ下ゲル、若シ初任給ヲ下ゲルト

於テハ、餘程ノ恩典ニナッテ居ルノデアリ
マス、是ハ所謂師範教育トシテ、教授、訓
練ナド到底中學ノ卒業生デハ出來ナイ、或
ハ高等教育ヲ受ケテモ、サウ云フ點デ迎モ
難カシイト文部當局ハ説明サレマスガ、教
授、訓練ト雖モ、相當ノ頭ガアル人ナラ六
箇月カ一年デ出來ルト思フ、若シサウデア
ルナラバ、大學卒業生デモ此初任給デ喜ン
デ來ル人モ相當今アルト云フ時代デアル、
隨テドウシテモ是ハ社會事情ニ適シナイ、
即チ他ノ教育ヲ受ケテ居ル人トノ權衡ガ取
レナイ、又先日來宮本君其他ノ方カラ御話
ニナッテ居ル通り、役場吏員ナドモ隨分酷ク
働イテ居ル、巡查モサウデアル、サウ云フ
コトヲ考ヘ、又況ヤ農村ノ小作人達ノコト
ヲ考ヘテモ、今ノ教員ノ初任給ハ高過ギル、
サウ云フ社會狀態ニ照シマシテ、教育問題
トシテ教員ノ初任給ヲ考ヘルト、多々益、辨
ズルデ、高イコトハ結構デアリマセウガ、
サウ云フコトヲ文部省ガ餘リ押通スコト
ハ、教育全體ヲ壞スモノデアル、況ヤ市町
村ハ教育費ノ爲ニ如何ニ苦ンデ居ルカト云
フコトハ、申ス迄モナイコトデアリマスカ
ラ、吾々ハドウシテモ是ハサウ云フ點ニ付
テ考慮ヲシナケレバナラス、先ヅ初任給ト
云フモノヲ下ゲル、若シ初任給ヲ下ゲルト

フコトガ今ノ制度デハイカナイ、多年ノ因襲傳統ガアルカライカナイト云フコトナラバ、全然師範教育ヲ廢シテ、所謂需要供給、生存競争ニ依ツテ募集シテ、ソレニ六箇月位教授、訓練ニ關スル教育ヲ施シテ行クト云フヤウナコトデ、立派ナ人ガマダ安タ來ル、隨テ其點ニ付テ寄附シテハイケナイトカ言フケレドモ、ソレハ寄附シテモ其處ニ居リタイノデアリマセウシ、又町村トシテハ寄附デモサセナケレバイカナイノデセウカラ、若シ初任給ヲ下ゲルコトガ出來ナイト文部省ガ主張スルナラバ、寄附ヲ大目ニ見テ、今少シク町村財政ヲ緩和スルト云フヤウニ、ドウシテモ御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、私ノ此際先ヅ第一ニ伺ヒタイノハ、今ノ師範學校ノ卒業生ノ配當ガドウ云フ風ニナツテ居ルカ、配當ニ餘リ困ラナイカ、之ヲ配當スル爲ニ、最モ働キ盛リノ人ヲ鹹首スルト云フヤウナ事實ガ相當アリハシナイカト思ヒマスガ、如何デアリマセウカ、サウ云フヤウナコトガイツ、ソレカラ表ニデモシテ貰ヘバ能ク分リマスガ、小學校教員ノ在職年限ト云フモノガ、ドノ位ニ少クナツテ居ルカ、次第々々ニ在職年限ガ少クナルノデゴザイマスガ、ソレガドシナ風ナ傾向ニアルカト云フコト、ソレカラ現

今尙ホ無資格教員ト云フモノガ相當アル、代用教員ト云フヤウナモノガ、ドノ位アルカト云フヤウナコトモ、大勢ヲ考ヘテ見タイト思ヒマスカラ、其根本論等ニ對シテハ、政務次官カラ御答ヲ願ヒタイ、細カイサウ云フモノ、配當關係、及在職年限ノ關係、及代用教員其他無資格教員ノ關係ト云フヤウナコトニ付テハ、他ノ政府委員カラ御答辯ヲ煩シタイト思ヒマス

○添田政府委員 何レ現在ノ配當狀況ト云フヤウナコトニ付テハ、他ノ政府委員カラ御答辯致シマス、先程私ト宮本君トノ御話ノコトハ、主トシテ現在ノ農村ニ於テ奉職シテ居ル教員ノ俸給ガ高キニ過ギルカラ、之ヲ減額シ、若クハ寄附行爲ニ依ツテ、町村財政ヲ緩和シテハドウカト云フ御意見デアリマス、私ハソレニ對シテ先刻申シタヤウナ意見ヲ述ベタノデアリマス、併ナガラ此問題ハ、成程今末松君ノ御話ノ通りニ、初任給制度カラ來ルノデアリマセウ、アリマセウケレドモ、其根源ノ初任給ニ付テ研究ノ餘地ガナイトハ私ハ申シテハ居ラス、是ハ將來考慮ヲシ、研究モシテ宜カラウト思ッテ居リマス、現在ノ俸給ヲ、少シ農村ガ困ッテ居ルカラト、直グ様之ヲ減額スル、或ハ寄附行爲ヲ強制シテ行クト云フヤウナコト

ハ、ドウモ職員ノ心理状態ニ及ボス影響ハ甚ダ面白クナイ、斯ウ痛切ニ感じテ居ルトイフコトヲ御話シタノデアリマス、又師範學校ノ問題ニ付テ今ノ御意見ガアリマシタガ、是モ御意見トシテ承ツテ置キマスガ、政府ニ於キマシテハ、師範教育ノ改善ト云フコトニ付キマシテモ、大分調査ヲ進メテ居ルノデアリマス、現在ノ制度必シモ是ナリト認メテ居リマセヌ、如何ニ改善ヲスベキカト云フコトハ、近キ將來ニ於テ之ヲ具體化スルコトガ出來ヨウト思ッテ居リマスガ、ソレ等ノ場合ニ於キマシテモ、今ノ御意見ナリヲ參考トシテ研究シタイト思ッテ居リマス

○下村政府委員 師範學校卒業生ノ配當ノコトデアリマスガ、是ハ特殊ノ事情ガアリマシテ、一時過剩ニ陥ツタコトハ確ニアルノデアリマス、ソレハ大正十五年デアリマシタカ、當時義務教育ヲ延長シナケレバナラスト云フヤウナ輿論ガ起リマシテ、サウ云フ計畫ヲ樹テタコトハアル、其爲ニ師範學校ノ學級數ヲ増加シ、又募集定員ヲ増加シタヤウナコトガアリマシテ、其關係カラ一時師範學校ノ卒業生ガ多ク出テ來ル、其爲ニ此新卒業生ヲ配當スル爲ニ、多少無理ナ淘汰ヲ行ハナケレバナラスト云フヤウナ現

象ガ起ツタノデアリマシテ、各府縣トモ相當ソレニ惱ンダノデアリマスルガ、其結果ト致シマシテ、數年前カラ師範學校ノ學級數ヲ減ズル、或ハ募集定員ヲ減少スルト云フヤウナ方法ヲ執リマシタガ爲ニ、今日デハ略々調節宜シキヲ得テ居ルヤウナ狀況ニナツテ居リマス、今日ニ於キマシテハ、無理ナ淘汰ヲ行ッテ、新卒業生ヲ配當スルト云フヤウナ弊ハ、全然杜絶シタトハ申上ゲ兼ネマスルガ、殆ンドマア無クナツタト申シテモ宜イカト思ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ高等師範ノ卒業生ニナリマスルト、是ハ文科、理科、體育科、家事科ト云フヤウナ區別ガアリマシテ、學校ニ依リマシテ多少ノ異動ハアリマスガ、大體ニ於キマシテ、今日ハ需要ト供給ガ均衡ヲ得テ居ルヤウナコトニナツテ居リマス、唯女子高等師範ノ方ノ家事科ノ生徒ハ、幾分カ殘ルノデアリマス、卒業生ガ直チニ就職サレルト云フコトニハ行キマセヌ、多少殘リマシテ、ソレガ次ノ學年ノ開始サレルマデニ配當サレルト云フヤウナ狀況ニナツテ居リマス、高等師範ノ方ハ、サウ無理ヲセズシテ、ドウヤラ斯ウヤラ配當ガ出來ル状態ニアルノデアリマス、ソレカラ在職年數ノコトデアリマスガ、是ハ在職年數ヲ一々詳シク調べタモノヲ此處

ニ持ッテ居リマセヌケレドモ、小學校ノ年功加俸ヲ受給致ス者ガ、年々殖エテ參リマス關係カラ言ヒマスト云フト、相當其教員ノ勤績年數ハマア續イテ居ルモノト見テ宜カラウト考ヘテ居リマスガ、全體ノ勤績年數ヲ調ベタモノヲ只今持ッテ居リマセヌカラ、御答致シ兼ネマスガ、加俸ノ關係カラ申シマス、長ク勤メテ加俸ヲ受ケル者ガ次第ニ増シテ來ル、隨テソレダケノ費用ヲ國モ府縣等モ年々出シテ居ルト云フヤウナコトデアリマスカラ、一概ニ勤績年數ガ短クナッタコトモアリマセヌゾデアリマスガ、詳細ノ狀況ハ只今述ベタ通りデアリマス、ソレカラ初任給ガ高過ギルト云フ御話デアリマスガ、是ハ政務次官カラモ只今御話ガアリマシヤウニ、何ト申シマシテモ、私共ハ一番大切ナモノハ、國民教育ト云フコトデアラウト思ウテ居ルノデアリマス、總テノ國家、各般ノ仕事ノ中デ、國民教育ト云フモノガ確ッカリシナカッタナラバ、ソレハ所謂砂上ノ樓閣デアラウト思フノデアリマスカラ、此國民教育ニ從事スル者ニ對シマシテハ、出來得ルダケノ優遇ヲナシマシテ、又地位モ安定ヲサセマシテ、サウシテ成ベク其教育精神ニ充チ滿チタ優秀ナ人ヲ茲ニ引付ケナケレバナラス、斯様ニ確信ヲ致シ

テ居ルノデアリマス、成程今日ノ社會情勢カラ觀マスルト云フト、或ハ少シハ高イカモ知レマセヌ、併シ嘗テ大正七八年、十二年ハ、政務次官ガ御述ニナリマシタヤウニ、非常ナ薄遇ヲ受ケテ居ッタ時代モアルノデアリマス、ドウモ社會ノ景氣不景氣ニ因ッテ左右サレルト云フコトハ、餘リ宜シクナイト思フ、矢張一定ノ俸給ヲ保障致シマシテ、一定數ノ教員ガ年々滑カニ配當サレルヤウニシナケレバナラス、ソレハ此教育制度ノ上カラ非常ニ大切ナ事デアルト思ッテ居ルノデアリマス、若シ之ヲ末松サングア仰セニナリマシタヤウニ、自由ニ委シテ置ク、世ノ中ノ景氣不景氣ニ左右サレルト云フコトニナリマスト云フト、或時ハ教員ノ配當ガ付カナイ、或ハ優秀ナル人物ガ段々他ノ方ニ取ラレテ行ッテシマフト云フヤウナコトニナリマスト、私共ハ今日ノ俸給ガエライ高過ギルトハ考ヘテ居リマセヌ、尙ホ御參考ニ申上ゲマサガ、小學校教員ノ俸給ト云フモノハ、此數年來ハ幾ラカヅ、下リツ、アルコトハ、表ニ就テ具體的ニハッキリ申上ゲルコトハ出來マサガ、サウ云フヤウナ自然ノ情勢デ下ッテ來ルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ヌカモ知レマセヌケレドモ、何等カノ作意ヲ加ヘ、殊ニ法令等

ヲ改正シテ、小學校教員ノ俸給ヲ下ゲルト云フコトハ、私共事務當局トシテハ絶對ニ贊成シ兼ネル所デアリマス
○末松委員 國民教育ノ大切ナコトハ、勿論私モ同感デアリマス、私ナドハ多年教育第一主義ヲ唱ヘ、教育ニ最モ重キヲ置イテ地方官ヲシテ來タ一人デアリマスガ、兎ニ角今ノ問題ハ初任給ノ問題デ、師範學校卒業生ガ、然ラバドレダケ國民教育ニ適當デアルカト云フコトハ、是ハ程度ノ問題デ、師範教育ノ根本ニ斧鉞ヲ加ヘナケレバ、アナタノヤウナ議論ガ起ルト思ッタカラ、師範教育ノ根本的改善ニ付テハ、國策審議會カ何カデ、文部省ヲ離レテ御研究ニナッテ——勿論俸給ハ多々益、辨ズルノデアッテ、多額ノ俸給ヲ出シテ、國民教育ノ任ニ當ル小學校教員ガ、相當ノ優遇ヲ受ケルコトハ結構デアリマスケレドモ、今ノ位ノ待遇デ、マダ立派ナ人ガ澤山來ルノデアリマスガ、師範教育ノ爲ニ梗塞ヲ受ケテ、是ハ專賣特許制ニナッテ居リマスカラ、他ノ者ガ侵入スル餘地ガナイ、其點ニ付テ文部省ハドウ御考ニナッテ居リマスカ、師範教育改善ニ付テハ、サウ云フ唯學科ヲドウスルトカ、年限ヲドウスルトカト云フ問題デナクシテ、其點ニ付テ御考究ニナッテ、此問題ノ改善ニ從

事サレンコトヲ希望シマス、只今ノ御説明中ニハ、無資格教員數ト云フモノハ無カッタヤウデスガ、私ハ年限ノコトヲ實ハ御調ベ願ヒタイ、年限ガ縮マリツ、アルト云フコト、師範教育ガ此儘デ行ケバ、何時カ必ズ過剩ニナリ、學級數ヲ減スカ、學校ヲ減スカシナケレバナラスヤウニナル、御承知ノ如ク師範教育制度ト云フモノハ、無資格教員ガ多カッタ時ニ出來タノデアッテ、將來ドウ云フ風ニ伸ビテ行クカラ考ヘズニ出來タノデアアル、ソレデ最近ニ於テハ教員ノ數ガ多クナッテ、此儘行ッたら過剩ニナル、其結果働キ盛リノ、所謂教授、訓練ニ最モ習熟シテ來タ教員ヲ、次カラ次ニ罷メサセナケレバナラスコトニナル、其點モ御考ヘ願ヒタイ、今現在無資格教員ハ下ノ位居リマスカ
○下村政府委員 今日ノ狀況デ申シマスト、教員總數ノ中デ、小學校本科正教員ノ資格ヲ有ツ者ガ、百人中六七・三三％ト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ尋常小學校ノ本科正教員ノ資格ヲ有ツ者ガ、一五・八九％、專科正教員ノ資格ヲ有ツ者ガ、五・二六、準教員ノ免狀ヲ有ツ者ガ二・二六、代用教員——是ハ資格ノ無いモノデアリマサガ、ソレガ九・二六、一割ニ達シテ居リマセ

ス、一割弱ガ代用教員デアリマス、是ハ前カラノ平均ヲ見マシテモ、一割前後ノ所ヲ波打ッテ居ルヤウデアリマス、教員ノ勤績年數ノコトハ、實ハ先程モ申シマシタヤウニ、資料ヲ持合セテ居リマセヌガ、年功加俸ノ受給者ガ年々殖エテ居リマスコトハ、計數デ申上ゲルコトモ出来マスガ、本科正教員ノ受給者ガ、昭和三年ニハ八萬四千七百七人、四年ニハ八萬九千二百人、五年ニハ九萬三千八百二十九人、六年ニハ九萬六千五百九十一人、七年ニハ九萬七千七百二十四人ト云フヤウナ譯デ、年功加俸ノ受給者ガ年々増加シテ行クコトハ、其職務繼續年數ガ大層下ッテ行クノデナイト云フ反證ニナルト思ヒマス

○末松委員 時間ガアリマセヌカラ、簡單ニ二ツバカリ伺ヒタイト思ヒマス、其一ツハ、義務教育費ノ減少ニ付テ、今少シク減少ノ餘地ガアルノデハナイカト認メラレルノハ、設備ノ點デアリマス、殊ニ校舍ノ點デアリマス、吾々ハ外國ヲ旅行シテ見テモ、日本ノヤウニ都鄙到ル處ニ堂々タル小學校ヲ建テ、居ル處ハ無イヤウニ考ヘラレルシ、又サウ云フ方面デ専門ニ廻ッタ人ノ話ヲ聞キマシテモ、日本ノ小學校ト云フモノハ、民度ニ適シナイ所ノ立派ナ建物ヲ造ッテ居

ル、サウ云フ輿論ガ相當アルノハ無理モナイノデ、學校教育ニ皆重キヲ置イテ、隣村ニ立派ナモノガアレバ、ソレニ匹敵スルヤウナ學校ヲ建テタイ、又隣村ノ小學校ニ講堂ガ出来レバ、矢張建テタイト言フ、是ハ要スルニ校舍其他ノ施設ハ、教育上カラ言ヘバ洵ニ美點デスガ、今日ノヤウニ教育費ノ嵩ム時ニ於テハ、田舎ハ田舎相當ノ堅牢ナ建物デアレバ、サウ立派ナモノデナクテモ宜イ、關西地方ノ如ク、アンナ倒レルヤウナ大キナモノヲ建テルト云フコトハ考ヘ物デセウケレドモ、堅牢ニシテサヘアレバ、餘リ立派デナクテ宜イ、是ハ文教上ノ問題ニモナリマスケレドモ、ソレハ議論シマセヌガ、要スルニ校舍ニ餘リ金ヲ掛ケナイヤウニスルト云フコトハ、相當日本ノ小學校教育ニ付テ考ヘル餘地ガアルト思ヒマス、サウ云フ點ニ付テ文部省當局ノ御意見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○下村政府委員 學校ノ校舍ハ成ベク華美ニ流レルコトヲ避ケテ、質實堅牢ナルコトヲ要ス、而シテ道德上、衛生上差支ナイモノヲ造レルト云フヤウナコトハ、法令ニモ出テ居リマスシ、絶エズサウ云フ指示モシテ居ルノデアリマスガ、ドウモ只今御話ノヤウニ、唯外面ノ體裁ヲ飾リ、如何ニモ堂々

タル設備ヲスルト云フヤウナ弊ハ、確ニアルト思ヒマス、サウ云フ點ハ今後トモ十分ニ注意致シマシテ、徒ニ虛榮的ニ、外面ノ美ニ流レルコトノナイヤウニト考ヘテ居リマス、關西ノ風水害ノ事モアリマシタカラ、特ニサウ云フ點ニ注意ヲ致シマシテ、決シテ華美ニ流レルコトハイカヌ、質實ナモノヲ造ルヤウニト、色々基準ヲ示シタヤウナコトモアルノデアリマスガ、今後ハ特ニ無用ノ經費ヲ投ズルヤウナコトハ、一切止メサセルヤウナ方針ニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○末松委員 其問題ハ其位ニ止メテ置キマシテ、今一ツ御伺シタイトハ、私立學校ノ獎勵問題デス、御承知ノ如ク英吉利ノ如キハ、小學校マデモ私立學校ガ澤山アツテ、非常ニ效果ヲ擧ゲテ居ル、其他中等學校ニモ私立學校ガ澤山アリマスガ、此點ニ付テ吾吾ハ今少シク地方ニ私立學校ヲ獎勵シ、地方ノ負擔ヲ輕減スルヤウニ致シタイト云フコトヲ、多年唱ヘテ居ッタノデアリマス、然ルニ吾々ノ見ル所ニ依レバ、文部省ニハ一ツノ凶ハレタ形ガアツタ、ソレハ完全ナ教育デナケレバ教育デナイト考ヘテ居ル、而モアノ法令ニ縛ラレタ教育デナケレバ、教育デナイト考ヘテ居ル弊ヲ、吾々モ實ハ地方

官時代カラサウ云フ感ガシタノデアリマスガ、今日ニ於テモ尙ホサウ云フ感ガスルノデアリマス、勿論完全ノ教育ガ結構デアリマスケレドモ、今日ノ地方自治體ノ負擔カラ言ヘバ、ソシナ教育ハ出来ナイノデハナイカ、隨テ中等教育ナドニ付テモ、今少シク私立學校ヲ獎勵スル意味デヤッタラ宜カラウ、ソレニ付テハ資格ヲヤルト云フヤウナコトガ、一番獎勵ニ宜イト思ッテ居ル、ソレデ私ナドハ多年私立學校ノ獎勵ト同時ニ、又夜間中學ノ獎勵ト云フヤウナコトヲ、度々吾々ハ言ッテ居ルノデアアル、漸ク最近ニナッテ困ッタカラ、夜間中學ト云フヤウナコトモソロ／＼許シヤウニナリマシタケレドモ、是等ニ付テ私ハ文部省ノ待遇其他ノ從來ノ傳統的精神ニ依ッテ、兎角此種ノモノニ付テモ、十分ニ發達ヲ助長スルコトハ困難デハナイカト思フ、其結果トシテハ、昨今新聞ヲ御覽ニナッテモ、各公立學校ト云フモノハ、三倍、四倍、多キハ八倍ノ中等學校ノ入學志願者ガアルニ拘ラズ、私立學校ト云フモノハ、寥々トシテ其維持ガ出来ナイヤウナ風ニナッテ居ル、是ハ要スルニ、私カラシテ甚ダ率直ト言フカ、文部當局ニ對シテ御氣ノ毒ナ意見デアルケレドモ、文部省ハ多年完全ナル教育ヲヤルコトニ餘リニ熱

中シテ、私立學校ニ對スル同情ガ少ナイト云フヤウナコトヲ、私ガ痛感ヲスルノデ、是ハ多年地方官時代カラサウ云フコトヲ考ヘ、又外國ノ教育ノ實情ヲ見テ、サウ云フ風ニ考ヘテ見タノデアリマシテ、其點ハドウカ文部省ニ、モウ少シ教育全體ヲ、假令不完全デアツテモ、教育ヲ受ケナイヨリハ宜イデヤナイカ、殊ニ入學難ナント云フコトハ、世界各國ニ無イ奇現象ガアツテ、入學難ノ爲ニドノ位兒童其者ガ犠牲ニナツテ居ルカ、ドノ位教員ガ其爲ニ贈賄トカ、收賄トカ云フ問題ヲ起シテ、日本ノ社會上、教育上ニ、入學難ト云フコト程大ナル惡影響ヲ齎シテ居ルモノハナイト思フ、斯ウ云フコトヲ現ニ見テ居リナガラ、文部當局トシテ大ニ考ヘテ貰ヒタイト思フノデアリマスガ、其點ニ關スル意見ヲ聽キタイ、同時ニ是ハ私ノ事ヲ言ツテ甚ダ濟マナイノデアリマスケレドモ、公立學校ヲ建テヨウト云フ風ニ、東京市ノ區マデモ色々學校ヲ建テヨウト云フ傾向ガ殖エツ、アル、實ハ私ノ區ニタツターツ高等女學校ガアツテ、ソレガ今言ツタヤウナ關係デ甚ダ振ハナイト云フノデ、區民ノ教育關係ノ人、及有力者ガ多數ヤツテ來テ、私顧問ニナツテ居ル關係モアリマスケレドモ、私ハ私立ノ高等女學校長ニナツテ居ル、

ソレハ如何ニモ氣ノ毒デアルカラ、無論無報酬デ、出來ルダケ自分ノ餘力ヲ割イテヤツテヤラウト云フ考デ、最近ニ向島高等女學校長ニ私ハナリマシタガ、然ルニ今年ノ豫算ニ、區トシテ同ジヤウナ商業學校ヲ一ツ置クト云フ案ガ出タ、ソレハ本年百五十人ヲ募ツテ、本科三年、研究科一年、四年デ、結局六百ノ學校ニナルノデアリマス、其學校ガ出來タ爲ニ、サナキダニ命脈ガ危ナカッタ學校ガ、殆ド潰レルドラウト云フノデ、其關係ノ區ノ人ハ非常ニ騒イデ居リマス、其爲ニ私立學校ノ協會ト云フモノカラ廻狀ヲ廻シテ、此種ノコトヲ區デヤリ、或ハ府デサウ云フコトヲ認メタノハ怪シカラヌカラ、其他ノ學校ガ潰レルト云フコトハ、教育上考ヘナケレバナラヌト云フノデ、協會ノ幹事長ノ名ヲ以テ、私立學校ヤ私ノ向島區ノサウ云フ方面ノ人ニ廻狀ヲ廻シテ居リマスガ、ソシテコトガ現ニ實例トシテアルノデス、是等モ吾々ハ私立學校ヲ成ベク盛ニシタイト云フヤウナ風潮ノ時デアリマスカラ、私ハソレニ關係ノ有無ニ拘ラズ、遺憾ニ思ヒ、相當大キナ問題ダト考ヘテ居リマスガ、ソレト一ツハ區ト云フヤウナモノガ、果シテサウ云フヤウナコトヲヤルコトヲ、文部省或ハ府當局ガ獎勵スベキ

モノデアアルカト云フコトハ、一ツノ大キナ問題デアル、御承知ノ如ク東京市ノ區ト云フモノハ、完全ナ法人デハナイ、ソレガ矢張區長ガアリ、區會議員ガアルト、色々ナコトニ手ヲ出シタイト云フヤウナコトニナツテ居リマス、聞ク所ニ依ルト、サウ云フ學校ガモウ一ツカアルサウデスケレドモ、サウ云フモノガ續々出ルト云フコトニナルト、地方團體トシテハ、東京市ノ區トシテハ非常ナ負擔ニナル、然ルニ教育ノ方デハ、サウ云フコトハ成ベク盛ニナルガ宜イト云フヤウナコトデ、若シ獎勵ノ意味デモアルト、是ハ區及ビ市ノ財政關係ニ於テ、隨分重大ナ問題ニナラウト思ヒマスルガ、ソレ等ノ區ノ教育ニ對スル、其種ノ中等學校ヲ起スコトニ對シテ、將來ドウスルカト云フヤウナコトニ關シテ、御意見ガアレバ伺ヒタイシ、同時ニ其私立學校ニ對スル一般の昨今ノ文部省ノ傾向、及ビ現當局ノ意見ト云フモノヲ伺ツテ、私ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス

○山柘政府委員 文部省ト致シマシテハ、私立學校ガ出來ルダケ健全ニ發達スルヤウニ、切ニ希望致シテ居ルノデアリマス、ソレデ明年度ノ豫算ニモ、私立學校ノ監督ニ關スル若干ノ經費ヲ要求シタノデアリマス、ソレハソレデ十分ハ思ヒマセヌ、不十分ナガラ著手シタノデアリマスカラ、現ニ財政上種々困ツテ居ラレル事情ハ、一ツハ私立學校ガ十分其機能ヲ發揮シ得ナイ状態デアリマスカラ、其實情モ能ク知り、御手傳モスルコトニシタイ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、唯中等學校ニ對スル補助金ニ付テハ、中等學校ハ道府縣デ世話スルヤウニ、大體ノ學校系統ノ建前ニナツテ居リマスカラ、各府縣ニ於テソレレ補助ヲ致シテ居リマス、現ニ東京府ニ於テモ、相當額ニ付キマシテハ、東京府會ノ中ニ於テ種々議論ガアルノデアリマスガ、出來ルダケ私立學校ガ健全ニ發達シテ、國家ノ教育機關トシテ貢獻スルヤウニト云フ、切ナル希望ヲ有ツテ居リマスカラ、此心持ヲ御諒解願ヒマス、其手段方法ニ付キマシテハ、ソレゾレ出來ルダケノ手ヲ盡シタイト考ヘルノデアリマス、只今ノ各區デ中等學校ヲ有ツコトニ付テノ可否ハ、ソレハ土地ノ事情ニ依ルノデアツテ、財政上支障ナク、且ツ區民ガ一般ニサウ云フ學校ヲ設立シテ、自分等ノ子弟ヲ教育シタイト希望致ス時ニハ、其希望ト財政狀態ノ宜シイノヲ、無理ニ抑ヘルコトニハ參リマセヌ、又財政上色々ノ關係

ガアルノニ、無理ニ區テ造レト獎勵スル譯

ニモ行クマイト思ヒマス、ソレハ實情ニ即

シテ適當ニ處置シテ行クヨリ外致シ方アル

マイト思ヒマス、ソレカラ先刻師範學校ノ

卒業生ニ對スル御懸念ノ點、御尤デアリマ

ス、其概略ヲ御話申上ゲマス、實ハ一時非

常ニ過剩デアッテ、其爲ニ老朽ト名付ケテ、

高給ノ教員ヲ誡ツタコトガアリマス、サウ云

フ事ハ教育上宜シクナイト云フノデ、師範

學校ノ卒業生ヲ減ズルヤウニ各府縣共工夫

シテ結果、此頃ハ大變少クナッテ居リマス、

一例トシテ統計ヲ舉ゲマスト、學級數ノ最

近一番多イノハ昭和三年デ、千三百六十三

學級デアッテ、然ルニ昭和九年ハ千三百九學

級シカナイ、生徒數ハ一番多イ時ハ四萬九

千三百四人、今ハ三萬九百人程シカ居ラ

ヌ、實ハ各地方共教育界ノ問題トナッテ、其

調節ヲ圖ル爲メ師範學校ノ學級數ヲ減ジ

タ、今度ハ師範學校ノ學級數ヲ減ジテ小サ

クナッテ、而モ教員ガ失職シナケレバナラヌ

ト云フコトニナッテ、師範學校ノ方カラ學級

減ノ文句ガ起ッテ居ルト云フ事情デ大體ア

リマス、此頃ハ需要供給ノ調節ヲ圖リ、殊

ニ東京府八年々七八百人不足シテ、他府縣

カラ教員ヲ輸入シテ居ル狀態デ、只今大體

需要供給ノ調節ハ取レツ、アル現狀デア

コトヲ御諒承テ願ヒタイト思ヒマス

○佐々木委員 私ハ特別市町村ノ資格ニ付

キマシテ一寸御伺シタイノデアリマス、特

別市ノ方デ見マスト、昭和七年度ニ於ケル

市税調定濟額一圓ニ對スル、市立小學校教員

俸給決算額ガ三十九錢九厘ヲ超過スルコト

ガ一ツノ條件ニナッテ居リマス、然ルニ一方

ニ於テ特別町村ノ資格トシテハ、同ジ事デ

ゴザイマシテ六十一錢五厘ヲ超過スル、斯

ウ云フ風ニナルノデアリマス、是ハ洵ニ市

ノ教育費ニ對スル負擔ト、町村ノ教育費ニ

對スル負擔トノ差ガアルノデアリマスガ、

是ハ甚ダ私ハ町村ニ薄ク市ニ厚イデヤナイ

カト思ハレルヤウナ節モアルノデアリマシ

テ、然ルニ今回ノ御提案ハ、大分金額ニ於

テ緩和サレテ居リマスカラ、此點ハ最モ私

共感謝スル所デゴザイマスガ、斯ウ云フ點

ニ對スル、是ハ全國ノ平均額カラ打算サレ

タ問題デゴザイマシテ、如何トモスルコト

ガ出來ナイコト、思フノデアリマス、ソレ

ハ餘儀ナイコトデアリマスガ、市税デモ、

町村税デモ、調定濟額一圓ニ對スル云々ト

云フコトハ、是ハ特別市町村ヲ決定スルニ

頗ル不適當ナル場合ガアルノデヤナイカ、

斯ウ考ヘルノデアリマス、ト云フノハ、困

ル市町村程比較的調定濟額ガ多イノデゴザ

イマシテ、富裕ナル市町村ニ至リマシタナ

ラバ、町村税ノ調定濟額ト云フモノハ、少

クテ間ニ合フノデアリマス、最モ現在ノヤ

ウナ各地方財政ノ最モ困窮ナル場合デゴザ

イマスカラ、別段ナ例モ生ズルノデゴザイ

マスガ、此頃各地デ豫算會議ヲヤッテ居ル、

其狀況ヲ聽キマスルト、或ル私ノ聞イタ村

デ、今マデ特別戸數割二十圓ヅ、カ徴收シ

テ居ツタ所ヲ、今度其半額以下ニスル、ソレ

ハ何ニ財源ヲ求メルカト言ヒマスト、財産

收入ヲ充當スル、或ハ又財産ノ運用ヲシテ、

斯ンナ急ノ場合ヲ越サウト云フヤウナ計畫

ヲ立テ、居ル所ガアルサウデアリマス、其

村ノ如キハ、モウ既ニ議決ヲ經タヤウニ聞

イテ居リマス、サウシテ場合ニ於テ、今度

ノ法律ハ十年度迄ト云フ改正案デゴザイマ

スカラ、モウ十年度ノ豫算ハ、將來計算ニ

入レナクテモ宜サ、ウナモノデゴザイマス

ガ、吾々ヲ以テシマスナラバ、今回ノ御提

案ハ十年度迄デアリマスガ、ドウシテモマ

ダ〱十一年度以降モ、是ハ繼續シテ戴キ

タイト考ヘテ居ルノデアリマス、又當局モ

財政ノ都合上、先ツ十年度迄切ッテ居ラレ

タノデゴザイマセウガ、ドウシテモ是ハ十

一年度以降モ繼續シテ行カレル御見込ヲ拜

察スルノデアリマス、尤モ一方ニ於テ地方

財政調整交付金ナント云フ案ガアリマシ

テ、此案ハ或ハ其方ニ打消サレルコトナキ

ヲ保シナイノデアリマスガ、兎ニ角私共カ

ラ致シマシタナラバ、是ハドウシテモマダ

マダ繼續シテ戴キタイ、今私ガ聽イタ例ナ

ドハ、將來矢張此標準ニナル、即チ財産其

他デ町村税ノ調定濟額ヲ少ク致シマシテ、

歲計ノ辻褄ヲ合セテ場合ニハ、小學校教員

ノ俸給決算額ガ矢張非常ニ率ガ高クナル、

サウスルト財産ヲ有ッテ居リ、財産ノ運用或

ハ財産收入、其他ノ收入ヲ以テ町村税ノ調

定ヲ少クシタモノハ、富裕デアリナガラ特

別ナル恩典ニ與ルコトガ出來ルト云フコト

ニ、私ハ結論ガ來ルト思フノデアリマス、

モウ既ニ或ハ昭和七年度アタリデモ、サウ

云フ市町村ガナイデモナイト、斯ウ考ヘテ

居ルノデゴザイマスガ、之ニ對シマシテド

ウ云フ事由カラ調定濟額一圓ニ對スル云々

ト云フ條文ヲ設ケラレタカドウカ、御意見

ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○下村政府委員 此市町村義務教育費國庫

負擔法ノ施行ニ關スル件ト云フ勅令デ、特

別町村認定ノ標準ノ規定ガ出テ居ルノデア

リマシテ、市町村義務教育費國庫負擔法ニ

依ッテ居ル譯デアリマスガ、此勅令ノ第一

條、二條、三條ニ書イテアルコトハ、是ハ

原則的ナコトガ書イテアルノデアリマスガ、只今佐々木君ノ御述ニナリマシタヤウナ町村ニ付キマシテハ、ソレノ知事ガ財政上ノ理由ヲ附シテ文部省ニ出スコトニナリマスカラ、其知事ノ提出致シマスル書類等ニ依ッテ、十分能ク調査ヲ致シマシテ、其間不公平ノナイヤウナ取扱ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○佐々木委員 今ノ御話デゴザイマスガ、是ハモウ標準ニアリマスノデ、左ノ各號ニ該當スル町村ト云フノハ、既ニ是ハ決定的ニナッテ居ルヤウニ見受ケルノデアリマス、其他ノ條項ハ、只今ノ御話ノ如ク地方長官ノ報告其他ニ依ッテ、決定セラレル部分モアルヤウデゴザイマスガ、私ノ申上ゲタ部分ダケハ、モウ既ニ決定的ノモノデアリマス、今ノ勅令ニ準據シタト云フ御話ハ、御尤デゴザイマスガ、私ハ此勅令ガ要スルニ甚ダ不適當デハナイカト思フ、甚シク不公平ニナルト思フ、財産其他ノ收入ノアル所程、特別町村ニ入ル條件ガ備ハル、何等サウ云フモノモナク、或ハ多額ノ負債等ガアリマシテ、其負債ノ償還等ニ餘儀ナク町村税ヲ澤山測定シタ場合ニハ、却テ特別町村ニナル條件ニ外レルコトガアルト云フヤウナ結論ヲ見ルヤウナコトガ、度々アラウト思フ

ノデアリマス

○下村政府委員 ソレハ此第一條ノ規定ヲ、大變窮乏ニ御解釋ナサイマシタ結果ダラウト想像スルノデアリマスガ、第一條ノ第一項ハ「文部大臣ハ左ノ各號ニ該當スル市ニ對シテハ市町村義務教育費國庫負擔法第四條ノ規定ニ依リ交付金額ヲ増加スルコトヲ得」ソレカラ町村モ同様デアリマス、ソレデ之ニ該當シマシタモノニ、必シモ文部大臣ガヤラナケレバナラスト云フノデハナイノデアリマシテ、裁量ノ餘地ガアルノデアリマス、大體此標準デ見當ラ付ケルガ、其他財政上ノ狀況ヲ考慮致シマシテ、交付スルコトヲ得ト云フコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ基本財産其他ヲ持ッテ居ルヤウナモノニ付テハ、此方ニ報告ヲ添付シテ來ルコトニナッテ居リマスカラ、今御話ノヤウナ所ハ、假令之ニ該當シマシテモ一面ニ於テ財産ガアル、負擔力モアルト云フコトデアリマスレバ之ニ加ヘナイ、或ハ加ヘルニシテモ、其金額ノ程度ヲ決メルト云フヤウナコトニ付テハ、嚴重ニヤル積リデ居リマスカラ、ドウゾ其點ハ御諒承願ヒマス

○佐々木委員 今ノ御答ヲ承リマシテ、頗ル運用ノ餘地ガアルヤウニ思ハレルノデゴ

ザイマスガ、認定標準ノ材料ノ頂戴シタモノヲ見マスト、増加スル必要アリト認メルモノヲ特別町村トス、サウシテ第一號ニ、左ノ各項ノ標準ニ該當スル町村ト、斯ウ云フ風ニゴザイマシテ、殆ド確定的ニ載セラレテ居ルヤウニ思フ、兎ニ角此印刷物ハサウ云フ風ニ書イテ居ラレマシテモ、今ノ御答ノ如クニ、大臣ニ於テ之ヲ施行スル場合ニ、運用範圍ヲ緩和スル條文ガアルト致シマスレバ、ソレデ結構デアリマス、要スルニ此條文カラ見マスト、富裕ナル者ガ却テ市町村税ノ調査濟額ガ少クテ、殆ド教員ノ俸給ノ決算額ト云フモノハ大體同ジデゴザイマス、サウスルト其方ガ率ガ多クナル、町村税ノミヲ以テ賄フ貧弱ナル所ガ、却テ之ニ當嵌ラヌヤウナ結果ヲ見ル虞ガアルノデ伺ッタノデアリマス、ソレヲ當局ニ於テ、色々ノ場合ニ向クヤウニ、取捨選擇ガ出來ルコトニナッテ居リマスレバ、私ノ申上ゲルコトハ杞憂ニ過ギナイコトデアリマシテ、洵ニ結構ト思フノデアリマス、ソレダケ伺ヘバ十分デゴザイマス

○木村委員 私ハ本委員會ニ付託サレマシタ他ノ二法案ノ審査ノ必要上、次ノ材料ヲ委員長カラ政府ニ御要求願ヒタイト思フ、第一ハ、最近三箇年間ノ市町村歳出總額及

其内譯調、道府縣別内譯ト申シマスノハ、教育費トカ、土木費トカ、勸業費トカ、衛生費、役場費、是ハ既ニ政府ニ調査サレタモノモアルト思ヒマスカラ、ソレヲ頂戴スレバ宜イト思ヒマス、第二ハ、最近三箇年間ノ市町村立小學校費、高等小學、高等科ト尋常科ヲ分ケテ調査ヲ願ヒタイ、ソレカラ經常ト臨時ニ御分ケヲ願ヒタイ、是モ道府縣別、第三ガ、最近三箇年間ノ尋常小學校費調、道府縣別、是ハ經常費ダケデ差支アリマセヌ、第四ハ、最近三箇年間ノ小學校教員俸給費調、道府縣別、第五ハ、最近三箇年間ノ尋常小學校教員俸給費調、道府縣別、第六ハ、最近三箇年間ノ公立學校職員年功加俸支給狀況調、以上デアリマス、出來ルダケ最近ノモノ、九年度ハ豫算ガ既ニ提出ニナッテ居ル管デアリマスカラ、豫算額デ差支アリマセヌ、以上デアリマス

○川口委員長 只今木村委員カラ要求ニナリマシタ參考書類ハ、政府ニ於テ成べく速ニ御提出アランコトヲ願ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午後一時カラ開會致シマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

午後零時四十分散會

昭和十年三月八日印刷

昭和十年三月九日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社